

プロジェクト名：アラブ首長国連邦及びイエメン国砂漠化地域森林復旧技術指針策定調査

(調査期間：1992年11月～0.5ヶ月、担当業務：砂防植林)

調査背景

本調査は、林野庁 ODA 予算である海外林業協力推進事業費補助金のうち、砂漠化地域森林復旧技術指針策定調査事業費によって実施されたものである。主な目的は、中東地域のなかで特に海岸地帯における移動砂丘による砂漠化が進行しつつある地区を対象に、その植林による砂丘固定に必要な現地調査および実証調査を行い、土壌保全の技術的手法を明らかにすることであった。

調査概要

現地調査においては、アラブ首長国連邦のドバイ、アブダビ、アルアイン等の灌漑造林およびイエメン国のティハマ、アデン、マーリブ等の砂丘固定造林、防風グリーンベルト造林、給水造林を調査した。それらの調査結果を基に、最終的にはイエメン国ティハマ平野ホデイダ地区の砂丘固定造林を目的とするプロジェクトサイトを決定した。

担当事項

- 両国における自然及び社会条件に関する一般情報の収集及び解析。
- 既存の灌漑造林地区における樹種、灌漑手法、維持管理等に関する現況調査。
- 実証試験の実施に適したサイトの検討及び選定。
- 実証試験における試験計画概要の策定。



アラブ首長国連邦大規模造林の例



アルアイン・アブダビ間の植林



イエメン国ティハマの農業



イエメン国ティハマの砂防